

事業所名

放課後等デイサービス オリーブ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

27日

法人（事業所）理念	一般社団法人ソーシャルデザインプロジェクト丘のりんごは、ハンディを抱えながら暮らすこともたちに視点をあて、そこから様々な社会課題を見つめ、課題を解決するためのアイデアを出し合い、地域に提案し、地域の方々とともに実践していくことを、法人活動の理念としています。		
支援方針	オリーブでは、小学1年生～3年生くらいまでの児童を対象とし、小集団の中で生活習慣生活習慣の確立とコミュニケーションの力を育む事を目的に、楽しい遊びや活動を取り交ぜて、感覚や運動機能等の発達を促す支援をします。交通規則などを学ぶための街歩きも日常的に実施します。地元の住民や商栄会、公民館や児童クラブとの交流活動にも積極的に参加し、人や地域社会との関わり方について、より実践的な支援を行います。		
営業時間	平日 10時00分から 18時30分まで 土曜日 8時30分まで 長期休暇・祝日	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	【支援のねらい】子どもの肉体的および精神的健康を促進し、日常生活が円滑に進むよう支援を行います。 【支援内容】利用時における健康状態確認/生活リズムの構築支援/基本的な生活スキルの習得サポート	
	運動・感覚	【支援のねらい】子どもが身体を動かし、感覚の調整能力を育むための支援を行います。 【支援内容】感覚統合を促進する活動（運動、芸術活動、リトミック）/身体能力の開発（事業所外活動）/姿勢と運動・動作の基本的技能の向上のための室内遊び	
	認知・行動	【支援のねらい】注意力や問題解決能力といった認知的なスキルや行動に着目し、子どもが必要とする適切な能力を育むための支援を行います。 【支援内容】場面の切り替えや時間を意識した活動を支援（視覚的支援など）/発達段階に合った学習サポート/行動の観察とフィードバック/模範行動の提示/数量、大小、色等の習得	
	言語 コミュニケーション	【支援のねらい】子どもの言語の理解力と表現力を高めるために、コミュニケーションスキルを高めます。言語的および非言語的な手段を用いて、他者との関わりを豊かにするための支援を行います。 【支援内容】物や絵カードの活用/指差しや手振りなどジェスチャーの活用/人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得（子ども同士の関わりを持てるように橋渡しをする）	
	人間関係 社会性	【支援のねらい】他者との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を促す支援を行います。 【支援内容】感覚運動遊びから象徴遊びへの支援/集団活動への参加/感情コントロールのサポート/対人関係スキルの向上（到着時と帰りの挨拶習慣を身に付ける）	
家族支援	家庭、学校、放課後等デイがそれぞれに役割を持ちながら支援の方針を統一して実践する中で、家庭の中で一緒に取り組んで行けるような具体的支援の手段について提案し、サポートします。連絡帳の活用。保護者会の開催。	移行支援	放課後等デイサービス利用中心の生活から、学校や児童クラブ、家庭で過ごす時間を確保していくための支援を行います。本人及び家族の意向を踏まえて総合的に最適な支援方法を検討提案します。
地域支援・地域連携	地域のお祭りやボランティア活動を中心とした地元住民（自治会）との交流、商栄会活動への参加、児童クラブとの交流事業の開催などを年間通じて実施します。	職員の質の向上	PDCAサイクルによる支援の振り返りと実践を積み重ね、職員個人の考えに偏った支援とせず、チームで考え動く体制で支援します。外部研修等への積極的参加で職員個々の知見を深めます。
主な行事等	自主事業：リトミック、ペアレントトレーニング、スポーツ活動（運動）、芸術活動（書道、絵画、工作、和太鼓、歌などの音楽、ダンス）、農業体験、お仕事体験 地域との連携事業：橋南地区児童クラブとの交流事業（年2～3回）、愛宕神社秋季祭典参加、知久町1丁目商栄会事業との連携事業（プランター植栽作業、人形劇フェスタ歩行者天国イベント、ハロウィン企画、丘のまちフェスティバル参加）		